

地理歴史科（地理探究）学習指導案

1 履修単位数 3 単位

2 実施日時 令和6（2024）年 月 日（ ） 限目

3 学級 2年次 「地理探究」の選択者

4 使用教科書 地理探究（東京書籍）、標準高等地図（帝国書院）

5 単元名 さまざまな観光

6 単元設定の理由

〈生徒観〉

本講座は○○学科の選択科目として設定されており、選択している生徒は、大学進学を希望している者もいれば、就職を希望している者まで様々である。少人数の講座ということもあり、普段から生徒の積極的な発言も多い。しかし、図表などから様々な情報を読み取ったり、簡単な論述をしたりすることに苦手意識をもっている生徒も少なくない。近年、世界的に注目されている「観光」について、発達過程とその多様性について理解させるとともに、教科書に記載されている統計資料から必要な情報を読み取って考察したことを自分の言葉で表現できる力を身に付けさせたい。

〈教材観〉

「観光」は生活レベルの向上とともに多様な変化を遂げている。近年注目されている産業としての「観光」がどのように展開してきたのか、交通・通信の発達や地域特性、多様な観光形態から地理的に考察させたい。また観光によって地域にもたらされる効果と課題について理解し、その要因と問題解決の取組みについて考え、発表する活動を通して、これから観光のあり方について展望する。

〈指導観〉

観光は現代社会において重要な産業の一つであり、SDGsを意識した観光のあり方について考察させたい。そのために、1人1台端末を使って観光の発展過程と多様性を調べるとともに、現代の観光が抱える課題を理解させたい。

7 単元の目標

- ・主題図やグラフなどを用いて、観光の地理的展開について交通・通信の発達や地域特性、多様な形態との関わりから把握するとともに、それによって生じる問題の背景・要因、解決へ向けての取り組みについて理解する。（知識及び技能）
- ・観光の地理的展開と課題について交通・通信の発達や地域特性、多様な形態との関わりから考察している。（思考力、判断力、表現力等）
- ・観光の地理的展開とそれによって生じる問題の背景・要因、解決へ向けての取り組みについて関心と課題意識を高め、意欲的に追究する。（学びに向かう力、人間性等）

【単元の基軸となる問い合わせ】 観光によって地域にもたらされる効果と課題とは何だろうか。

8 単元の評価規準

知識・技能（知）	思考・判断・表現（思）	主体的に学習に取り組む態度（態）
主題図やグラフなどを用いて、観光の地理的展開について交通・通信の発達や地域特性、多様な形態との関わりから把握するとともに、それによって生じる問題の背景・要因、解決へ向けての取り組みについて理解している。	観光の地理的展開と課題について交通・通信の発達や地域特性、多様な形態との関わりから考察している。	観光の地理的展開とそれによって生じる問題の背景・要因、解決へ向けての取り組みについて関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。

9 指導と評価の計画 単元名 さまざまな観光 全3時間

第3時 これからの観光のあり方と課題について考えよう・・・・・【○思、○態】

単元の指導計画 (○…「評定に用いる評価」、●…「学習改善につなげる評価」)

時程	学習活動	評価の観点		評価規準等
		知	思	
第1時	【単元の基軸となる問い合わせ】観光によって地域にもたらされる効果と課題とは何だろうか。			
	【副次の問い合わせ】観光はどのように展開しているのだろうか。			(評価資料) : 授業ノート、発表、授業態度
	<ul style="list-style-type: none"> 観光産業の発達と地理的展開について、図表から読み取る。 本時のまとめとキーワードの復習を行う。 	○	●	<ul style="list-style-type: none"> ○資料から観光の発達過程について理解している。 ●観光についての基本的な語句を理解し、その発達と背景について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。

時程	学習活動	評価の観点			評価規準等
		知	思	態	
第2時	【本時の問い合わせ】観光にはどのような地域特性がみられるのだろうか。				(評価資料) : ワークシート、発表、授業態度
	<ul style="list-style-type: none"> ・多様化する観光の背景には、世界遺産の分布や新しい観光形態等も関係していることを理解する。 ・日本における観光の変化を知り、日本の観光における課題を考察する。 	●	○		<ul style="list-style-type: none"> ●教科書の資料から情報を読み取り、多様化する観光の背景を理解している。 ○1人1台端末を使用し、日本の観光の実態を調べて、課題を考察している。
第3時	【副次の問い合わせ】これからの観光のあり方と課題は何か。				
	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で設定したテーマについて、観光の特徴や課題等を調べて、MetaMoJi ClassRoomのワークシートにまとめる。 	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ○配布されたMetaMoJi ClassRoomのワークシートに、調べたことをまとめている。 ○自分で設定したテーマについて、意欲的に調べている。

1.0 本時の指導目標

時代の変化とともに観光そのものが世界規模となるとともに、多様化していることについて理解したことなどをふまえ、日本における観光の変化の動向について考察する。

1.1 本時の展開【50分】

時間	学習活動	指導上の留意点	学習活動における具体的評価規準	評価方法
導入5分	<p>【单元の基軸となる問い合わせ】観光によって地域にもたらされる効果と課題とは何だろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時の復習と、本時の内容について確認する。 			

展開 20分	<p>【本時の問い合わせ】観光にはどのような地域特性がみられるのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様化してきた観光について知る。 ・マスツーリズムの時代に入り、観光が多様化してきたことを理解させる。 ・環境破壊が問題となる中で、持続可能性に配慮した観光のあり方が重要視されるようになったことを考察させる。 ・教科書の資料から情報を取り、多様化する観光の背景を理解している。 <p>【知】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表 			
展開 20分	<ul style="list-style-type: none"> ・日本における観光のあり方の変容を知る。 ・ビジット・ジャパン・キャンペーンの具体的な取り組みとその成果を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本では伝統的に周遊型の旅が行われてきたが、高度経済成長期を経て、リゾートへの需要が高まる中で、開発とともに環境破壊が問題となる例があったことを理解させる。 ・観光立国がめざされるようになってから、観光庁の設置など様々な取り組みが進められてきたことを理解させる。 		
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の観光を促進していくために、現在の観光における課題について1人1台端末で調べて、ワークシートにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国内の観光が多様化し、訪日外国人が急増していることと合わせて、日本の観光の課題を調べさせる。 ・1人1台端末を使用し、日本の観光の実態を調べて、課題を考察している。 <p>【思】</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート

1.2 評価の目安と目標実現のための手立て

【知識・技能】

A	十分満足できる	資料を活用し、観光の発達や多様な観光形態には交通・通信の発達や地域的特性など多様な要因が深く関わっていることを理解している。
B	おおむね満足できる	資料から情報を読み取り、観光の発達やその多様性を理解している。
C	B を満たさない生徒への具体的な手立て	問題プリントにより、観光の基本的な語句・知識の確認を行う。

【思考・判断・表現】

A	十分満足できる	観光が多様化することで環境破壊などの様々な問題が発生し、こうした問題をふまえて、環境や持続可能性に配慮した観光のあり方が重要視されていることを考察している。
B	おおむね満足できる	観光そのものが世界規模において多様化していることをふまえ、日本における観光の変化について考察している。
C	B を満たさない生徒への具体的な手立て	問題プリントにより、観光の基本的な語句・知識の確認を行う。